

其法へんを草のけをかりけ入て一夜を
以てかくるまゝ

辛未正月物さるる

鳥のたふしと聞きえにませて何しむる
のあつたをさるる

守げの祢 寺に陰はサるるに名て
辛未正月祢法にのる

ゆの祢 大く次元中 天南星小 媛乃

あつたてけよ 内業スル人あつたむやく

くーらむしは人一二にのみをいせ九十一日二日